

留学先国名 : ノルウェー

留学先学校名 : ベルゲン大学

留学期間 : 平成 26 年 8 月 4 日 ~ 平成 27 年 6 月 30 日

1. はじめに

2014 年 8 月に日本を発ってからもう 1 年以上の月日が流れてしまったということが、未だに信じられないまま日本での生活を送っています。前日に徹夜で荷づくりをし、一睡もしないままの出発という何とも先が思いやられる形で僕の留学生活は始まりましたが、今振り返ってみるとこの一年間は本当に様々な経験ができ、学生生活の中で最も充実し、かつ刺激的なものでした。とりわけ、僕の場合ノルウェーという日本ではあまり知られていないマイナーな国に留学していたので、他のアメリカやカナダなどの英語圏に留学した学生とは違い、良い意味で特殊な経験ができたと思います。そのため、これから英語圏の国に留学されるみなさんにはあまり参考にならないかもしれませんが。ですが異国で必死に勉強し、馴れない環境で生活してきたという点では参考になるところがあると思いますので今後の準備に役立ててくだされば幸いです。ここではこの一年間を大きく 3 つの時期に分けて僕の留学生活を報告したいと思います。

2. オリエンテーション（セメスター前準備期間）

ノルウェーに到着してから大学の講義が始まるまではセメスター前に準備期間が設けられており、ノルウェーで生活、勉強するために必要な情報を得たり、手続き等を進めていきます。受講登録、学生証や住民票の発行、入寮の手続きなどを行いますがそのなかで最も印象的だったのはメンターウィークと呼ばれるものです。これは新入生が大学生活にすぐ馴染めるようにつくられたもので、学部内で 1 グループ 5, 6 人にわかれて現地の大学生がリーダーとなり 1 週間まちや大学を案内してもらい友好を深めるプログラムです。僕のグループは日本人 1 人、ドイツ人 3 人、ポーランド人 2 人、イタリア人 1 人、ノルウェー人 1 人でした。昼間はベルゲン市内、大学の建物、設備等を案内してくれますが、夜はリーダーの家でパーティーをして深夜になるとクラブやバーに繰り出し明け方までお酒を飲み踊り明かすという日々でした。普段はシャイなノルウェー人もお酒が入ると陽気になり話が弾むので、友達づくりにはうってつけの機会でした。この 1 週間多くのパーティに参加したおかげで一気にかくさんの友達ができスムーズに大学生活をはじめることができました。ただヨーロッパの人は基本的にお酒が強いので同じペースで飲み続けると大変なことになるというのは身をもって感じました。

学生寮での生活

僕は市内から電車で 30 分程離れたところにある学生寮に住んでいました。そこは留学生の多くが住んでおり非常に国際色豊かな場所でした。僕の住む棟は 2 人でキッチン、バスルームをシェアする形のものであったのでハンガリー人のフラットメイトと一緒に暮らしていました。休日にはハイキングなど、寮生との交流を深めるイベントが催されていたので積極的に参加していました。

また、寮にはクラブがあり昼間は娯楽施設としてビリヤード、卓球、ピアノが楽しめ、夜は様々なイベントが行われバー、クラブとして使われていました。夜はクイズ大会、映画鑑賞会、お菓子パーティ、カラオケ、ジャズセッション、スポーツ観戦、サルサ、週末には DJ が音楽を流しパーティなどなど、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

ノルウェーは非常に物価が高いため学生は外食をする機会が減多になく、基本的に自炊の毎日でした。そのため友達と一緒に料理することも多く、日本食を振舞ったり、様々な国の料理を楽しんだりすることができました。

2. 秋セメスター

勉学編

前期の授業では北欧政治(Scandinavian Politics)、開発地理学(Geography of Development)、ノルウェー語の 3 つの講義を受講しました。ノルウェー語以外はすべて英語による講義で内容は非常に専門的なものでした。英語による授業は週 1 回の講義と隔週のセミナーで構成され、ノルウェー語は週 3 回の講義と週 1 回の発音の講義で構成されます。北欧の大学は授業 1 つあたりの単位数が非常に多いにも関わらず講義数が少ないのが特徴で、時間割だけを見ると日本の大学より楽に思えますが、扱う範囲は幅広く 1 つの授業で約 1000 ページ分の文献を読み込まなければいけません。そのため各講義ごとに毎週 100 ページほどの文献を読み予習しておかなければいけません。最初は膨大な量のリーディングとそのアカデミックで専門的な内容を理解することに非常に苦戦し、授業についていくのが大変でした。またセミナーでは講義のテーマに沿って課題が与えられ自らリサーチし自分の意見を発言することが求められたので、日本でそのような経験がなかった僕にとっては非常に苦痛でした。他の留学生が発言していることも理解できずとても悔しい思いをしましたが、優秀な友達の助けを借りながら一生懸命勉強しました。ノルウェー語の授業は講義がほぼノルウェー語で行われるので、しっかり予習復習をしないと全く理解できなくなってしまうので毎日勉強しました。ベルゲン大学には日本語を専攻している学生がいたので語学の勉強の際は毎日一緒に勉強していました。僕が日本語を教え友達がノルウェー語を教えるのですが、会話は主に英語だったので同時に 2 つの言語を学ぶことができとても刺激的でした。最終テストは 5 時間の筆記試験、そして 1 週間のホームエッセイ(レポート試験のようなもの)でした。大量の知識を詰め込み、論理的に書く力が求められるので、非常にハードな試験でしたが必死の勉強の末、パスすることができました。

生活編

毎日膨大な課題におわれながらも、週末や休日にはパーティをしたり、イベントに参加したりと充実した生活を送ることができました。また9月頃には現地の日本食レストランでアルバイトをはじめ、様々な経験をさせていただきました。寿司の握り方やラーメン、焼きそばなどの作り方を教えてもらい調理補助、また電話対応、レジの会計などを経験させていただきノルウェー語を実際に使う機会にも恵まれました。

自分の誕生日パーティを開いたときには日本料理を振舞い、友達はドイツのデザート、ノルウェーのケーキ、ブラジルのストロガノフなどをつくってくれ、とても良い思い出になりました。

さらにノルウェー人の彼女もでき素晴らしく充実した生活を送ることができました。

3. 春セメスター

前期セメスターを終えてからは冬休みの間、現地でできた友達の国を訪ね、ヨーロッパを14か国ほど旅行しました。

勉学編

後期セメスターは北欧メディア、途上国政治、グローバル化と地理学、EU政治の4つの講義を受講しました。前期よりも多めに授業をとったので課題やリーディングの量はさらに増え非常に大変でしたが、前期の授業で勉強のコツが少しずつわかってきたので講義やセミナーで理解に苦しむことは少なくなりました。講義の内容が理解できるようになると勉強が楽しくなりセミナーでも自ら発言できるようになり、自分の成長を実感できました。またセミナーでは各グループごとに課題が与えられるので、他の留学生とともに課題を分担し、協力しながら勉強していました。同じ問題に対しても、自国の状況を踏まえながら意見を出すので、それぞれ個性がでて興味深かったです。テスト前には仲の良い友達とグループを作り課題を分担し、お互いに教え合うことで効率的に知識を共有することができました。前期に比べると勉強量は大幅に増え大変でしたが、勉強のコツをつかめたこともあり、成績はかなり向上しました。

生活編

前期と同様、週末や休日には友達と山登りやカフェ巡りなどをして過ごしていました。イースター休暇にはポーランドにいる友達を訪ね、町を案内してもらいました。課外活動としては町の合唱部に所属し、音楽祭で披露するなど、積極的に大学外の人との交流をするようにしていました。友達の多くは前期がおわると帰国してしまったので、非常に寂しかったのですが、新しくきた留学生と友達になり、楽しく過ごしていました。

4. まとめ

この一年間の留学を通して、専門分野のさらなる知識を得られたことは確かですが、それ以上に自分自身が大きく変わることができたのが一番の財産ではないかと思います。大学入学時は内気であまり人と打ち解けて話すことができなかつた僕が、今回の留学先では自分でも驚くぐらいに積極的になり、自ら様々な

ことに挑戦していくことができました。自分だけでなく、現地でできた友達にも積極的だと言われるほどにまで成長できたのは、一つの要因として周りの環境があると思います。僕はアメリカやカナダといった留学先としてメジャーな国ではなくあえてマイナーなノルウェーという国を選びました。その一番の理由は、未知の環境で自分がどこまで通用するか、挑戦してみたかったからです。この経験から学んだことは、自分の努力次第で環境は自由に事が変えることができる、そして自ら積極的に動くことで予想以上の学びを得ることができるということです。これはノルウェーだけでなく、どの国に対しても言えることですが、全く知らない土地で一から行動をおこすのは非常に度胸がいります。しかし勇気をふり絞って行動した先には予想もできないほどの変化、成長が待っています。これから留学に行かれるみなさんのなかには心配事が多く不安になっている方がいるかもしれません。そこで私がアドバイスとして伝えたいことは、新しい環境に飛び込む度胸、何が何でも目標を成し遂げると強い思い、そしてがむしゃらに頑張る力、この3つさえあれば、結果はあとからついてきます。だから先のことを心配するより、これからの留学生生活を十二分に楽しむぞ、という思いをもって今の生活を楽しんでください。留学先では本当に数えきれないほど多くのトラブルにあいますが、意外とどうにかなるものです。だからあまり気負いすぎず、気楽に構えて全力で留学を楽しんでください。それでは楽しい留学生活を！